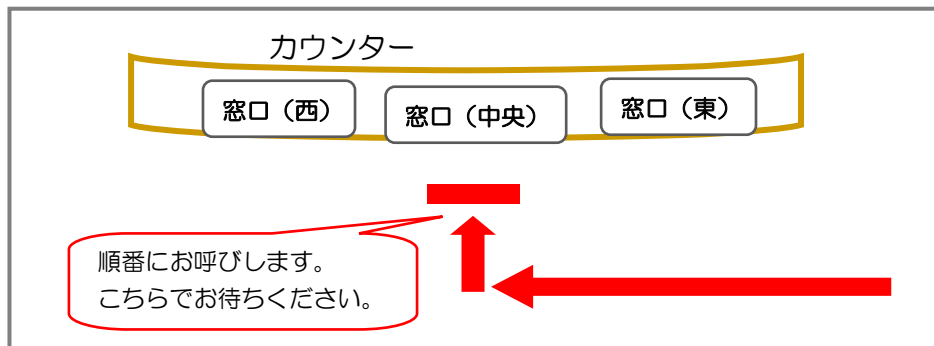


ご協力をお願いします！(6/3～)

貸出・返却・お問い合わせなどでご利用の方は、カウンター前の床にある赤い線に沿って一列にお並びください。順番にお呼びしてご利用を伺います。
なお、体の不自由な方などを優先する場合があります。
ご理解とご協力をお願い申し上げます。



小田井城、それはどこですか？

館内での質問から

小田井(おたい)城は、清須市西枇杷島町にあった城で、現在、名古屋鉄道・下小田井駅の北東、名古屋高速北側にある城跡公園に石碑が建っています。

しかし、この石碑は、もとは1916(大正5)年に線路の西側の城跡と考えられていた場所、現在の西枇杷島町古城(こじょう)に建てられたものです。宅地開発により、今の場所に移されました。

この城は、尾張守護代・織田大和守敏定(やまとのかみとしさだ)の弟と言われる丹波守久孝(たんばのかみひさたか)が築き、子孫が豊臣秀吉によって配流されるまで続いたとのこと。その後は廃城となり、経済成長期に開発が始まるまで田んぼの中の塚として残っていたようです。

・『西枇杷島町史』 西枇杷島町史編集委員会／編 p31～p37

・『昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館』 服部英雄／著

著者は、名古屋で子ども時代を過ごした中世史研究者。中学生の時に自ら撮影した写真が、開発前の城跡の様子を伝えてくれます。p122～p124 p137～p138

・『尾張の古城』 笹山忠／著 p170～p171

編集後記 また、すごしにくい季節になってしまいました。夏はすぐには終わりません。図書館資料なども参考にしながら、上手にのりきりたいですね。(鈴木)

発行・名古屋市山田図書館 〒452-0815 名古屋市西区八筋町358-2

電話 052-503-5340 ファクシミリ 052-503-5341

この用紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

山田図書館だより

2012年6月17日発行



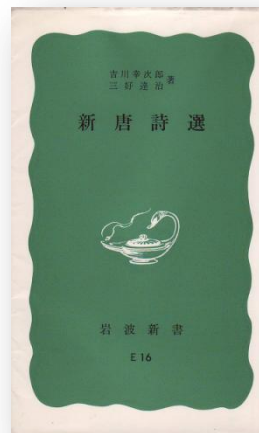
みんなのしおり

第56号 毎晩ぐっすり6・7月号

今月の特集
カレーの夏

巻頭エッセイ

待合室での読書



2年ほど前から掌にしりりができていました。手を開くと突っ張るだけで、日常生活にたいした支障もないので、忙しさにかまけそのままにしてきましたが、先日、平日にお休みがいただけたので、近くの皮膚科で診てもらうことにしました。

待合室は4・5人だけで、すぐに呼ばれるだろうと思っていましたが、後から来る患者が次々に呼ばれていきます。待合室には、幼児向けの本が置いてあるだけでもなく、ただいろいろ

としながら待つのみ。1時間後やっと呼ばれ、「これは整形外科の範囲。紹介状を書くので、そこで診てもらいなさい。」の一言。

あわてて家に帰り、近くにあった岩波新書を二冊(吉川幸次郎・三好達治『新唐詩選』と浅野裕一『古代中国の文明観』)を鞆につっこみ、病院へ。迷路のような病院の中を行ったり来たりしてやっとついた受付では、「患者さんが多いので、しばらく待っていただきます」とのこと。やむを得ないと整形外科の待合室に行き、まず、『古代中国の文明観』から読み始め、「文明以前の環境問題」から「儒家」「墨家」「道家」の文明観と読み終えてもまだ呼ばれず。次に、『新唐詩選』を開き、杜甫を読み、李白を読み、王維を読み、ここに来てすでに3時間。こんなことなら、もう1冊、気楽に読める藤沢周平の剣豪物でも持ってくるべきだと思いつつ杜甫の詩を暗唱していました。 【奉仕調査員 内藤 秀彰】

西暦	年号	カレーに関するできごと
1859	安政6	イギリス船が横浜にカレーを伝える。
1872	明治5	初めてカレーライスの作り方を紹介した『西洋料理指南』『西洋料理通』が出される。
1876	明治9	札幌農学校開学。クラーク博士が「らいすかれい」と名づけたと言われる。
1880	明治13	酒悦(しゅえつ)が、福神漬けを考案。
1927	昭和2	中村屋、インド独立運動の志士・ボースの影響でインドカレー「カーリース」発売。
1930	昭和5	山崎峯次郎がカレー粉を発売。
1945	昭和20	オリエンタルが、粉末の「オリエンタル即席カレー」を発売。
1954	昭和29	エスビー食品が、固形カレールーを発売。
1963	昭和38	ハウス食品が、「ハウスバーモントカレー」を発売。
1968	昭和43	大塚食品が、初のレトルトカレー「ボンカレー」を発売。
1999	平成11	横須賀市、「よこすか海軍カレー」でカレーの街宣言。



今年も蒸し暑い季節に突入しました。こんな時は、いろいろなスパイスの入ったカレーを食べたいですね。今月は、インド起源の料理・カレーに関する本をご紹介します。

*1952(昭和27年)6月、日本とインドの間に日印平和友好条約が結ばれ、国交が樹立してから60年を迎えました。



◆野菜がごろごろしたお母さんのカレーが食べたい

トッチくんのカレーようび 間所ひさこ／文 山本まっこ／絵(ポプラ社)

トッチくんのお母さんがじゃがいも・にんじん・たまねぎたっぷりのカレーライスを作っていると、たまねぎで涙を流してしまいました。トッチくんがお母さんをいじめたたまねぎに腹を立てると、たまねぎは逃げ出してしまいます。実は、この日はカレーようび。町中のみんなでたまねぎを捕まえて、一緒においしいカレーを作ります。昭和40年代の懐かしい絵本。

◆お父さんはビーフ

パパ・カレー

武田美穂／作(ほるぷ出版)

お父さんのカレーは豪華にビーフ。隠し味は、なんとバナナです。今夜はカレー!という気分になる絵本です。

◆カレーライスを育てるお話

ひみつのカレーライス 井上荒野／作(アリス館)

フミオがカレーを食べていると、小さな黒いつぶが出てきました。お父さんが書斎で調べると、世にめずらしいカレーのたねだとわかります。家族みんなで世話をすると、大きく育った木には、カレーとライスの実がたくさん!ほかほかのライス、あつあつのカレー、もう、がまんできません。

◆若者はカレー屋を目指す

カレーライフ 竹内真／著(集英社)

小さいころ、そろって洋食屋の祖父のカレーを食べている時に突然祖父を失ったケンスケは、いとこ達と将来カレー屋を開こうと約束します。

19歳になり調理師免許を得たケンスケは、死に臨んだ父の一言がきっかけで、いとこの1人とともにアメリカのバーモント州からインド、沖縄を旅して、思い出の祖父のカレーの謎を解き明かしてゆきます。読後感さわやかな青春小説です。

◆アジア各地のカレー

アジア・カレー大全(旅行人)

カレーは、もちろん、インドや日本だけのものではありません。インド文明の影響を受け、同時にスパイスに恵まれた南・東南アジア各地域で食べられています。本書では、インド、パキスタン、タイの様々なカレーをはじめ、日本と関係の深い中国や韓国のカレー事情も紹介。写真を眺めるだけでも楽しめます。

◆インド独立運動と恋の味

中村屋のボース 中島岳志／著(白水社)

1927(昭和2)年、新宿の中村屋が日本で初めて本格インドカレーを売り出しました。料理を伝えたのは当時イギリス統治下にあったインドを代表する独立運動指導者のラース・ビハリー・ボース。日本に亡命したボースは当初この店にかくまわれていました。店主の娘と結婚したボースは、日本に帰化し、日本の有力層とも結びつきながら運動を展開します。しかし欧米の後を追う当時の日本は、大陸進出を急速に進めており、ボースは苦しみます。カレーの背後にあるアジア近代史を描いた読み応えある評伝です。

◆どうしておふくろの味なのか?

カレーライスの謎

水野仁輔／著(角川SSC新書)

「インドのスパイシーな料理の味を知ってしまうと、家庭のカレーは物足りない。母のカレーが一番と言う人が大勢いるけれど、そもそも市販のルーが日本のカレー文化をダメにしているんだ!」との思いを抱いていた著者。でも、改めて家カレーはよくできた感動の味。日本独特のカレー文化の謎解きが始まります。

◆インド・イギリス・日本・軍隊・給食

世界が見えてくる身近なものはじまり 第2期1 / カレーライス(PHP研究所)

学習に役立つように、カレーライスが日本で普及するようになった歴史がまとまっています。インドで食べられていた料理がイギリスに伝わり、カレー粉とルーを使ったまろやかな料理に変化し、これが明治時代に西洋料理として日本に入ってきました。1876(明治9)年、札幌農学校のクラーク博士は、生徒の貧弱な体格に驚き、肉食を奨励し、「生徒は米飯を食すべからず。ただしらいすかれいはこの限りにあらず」との規則を設けたという話も紹介されています。大事なライス(米)の話もあります。

◆本格カレーに挑戦

カレーのひみつ

(ひさかたチャイルド)

市販のルーを使えば手軽にカレーが出来ますが、この写真絵本ではスパイスを調合してカレー粉を作るところからカレーづくりを紹介します。子ども向きですが、大人にもとても参考になります。一度は本格カレー作りに挑戦したいですね。

最近の山田図書館

当館をご利用いただき、ありがとうございます。最近の当館について簡単にご報告します。

● 蔵書点検

特別整理休館中（5/28～6/1）に蔵書点検を行い、在庫資料およそ5万点の所在を確認しました。

大変残念なことに、新着図書・特定の日本人作家・特定のアウトドア雑誌と科学雑誌・特定の分野を中心に資料が無断で持ち出されていました。

図書館は、一部の方のためではなく、公共の福祉増進のための資料提供機関です。他の方を十分に考慮してご利用くださるよう改めてお願いいたします。

● 図書の永年保存

本市図書館では、原則、どのような図書でも1冊は古くなっても廃棄せずに鶴舞中央図書館で永年保存しています。これにより、各時代の図書を、長くみなさんに提供できるようにしています。

先月、当館で一定年数以上所蔵し、他の館では所蔵していない図書のうち約300冊を中央館へ移しました。

検索、予約による貸出はこれまで同様ご利用いただけます。

● 絵本の並び換え

絵本は、画家の五十音順に並べていましたが、お子さんの探しやすさを考え、今月から本の題名（タイトル）の五十音順に変更しました。より探しやすいように主なシリーズの見出し板も加えました。今までとは違った絵本との出会いをお楽しみください。

作業には、ボランティアの方々の協力をいただきました。

（例）『ぐるんぱのようちえん』⇒絵本「く」の棚に

*むかし話の絵本・乳幼児向け絵本などは、今までどおり、それぞれのコーナーをご覧ください。

● 不用図書リサイクル会

6/2、図書館で不用となった図書・雑誌をおわけするリサイクル会を行い、多くの方にご来場いただきました。

リサイクル資料は、館内の「ヨンデルー文庫」でも手にとっていただけます。



● 西保健所山田分室での読み聞かせ

- ★ 5/22 子育て教室「ぴよぴよ」で、読み聞かせをしました。
- ★ 4/13・5/11・6/8 地域のボランティアの方々とともに、3歳児健診の機会に、紙しばいや本の読み聞かせ、手遊びを行い、親子で本に親しんでいただける環境づくりをしました。

● 児童向け館内行事

- ★ なごやっ子読書週間おなはし会（4/28）
- ★ 子どもビデオ上映会（5/26）
「くじらぐも」「王さまでかけましよう」「がんばれスイミー」をお楽しみいただきました。
- ★ 定例のおはなし会（4/1～6/16）
 - ◇ ちいさいおはなし会“すくすく”（1～3歳と保護者向け）
10回開きました。わらべうたや絵本をご紹介しました。
 - ◇ みんなのおはなし会“よむよむ”（4歳～小学生向け）
5回開きました。毎回お父さんにもご参加いただいています。

● 企画展示

- ・「高松塚古墳壁画発見40年」（～4/28）
- ・「楽しい職場」（～5/27） ・「はたらく犬」（～6/24 予定）
- ・「2012年は天体ショーの当り年」（～5/27）
- ・「みんなの心に生きた山下清」（～6/24 予定）
- ・「なごやっ子のおすすめ100冊」（児童）
- ・「のりものによってでかけよう」（児童）

● おもちゃ病院

4/15・5/20、「児玉おもちゃ病院」の出張診療を行い、壊れたおもちゃの修理をしました。第3日曜日（10時～13時）に開いています。

山田図書館クロスワードパズル

(12年6月号おまけ)

1	2	3		4
		A	F	
5				
		E		
6				
	D			
				7
8				
				C

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---



正解は次号をご覧ください。

【タテのかぎ】

- 東京の墨田区に建てられた高さ634メートルの電波塔。
「東京〇〇〇〇〇ー」
- 横浜～大船を走る通勤電車。
「〇〇〇線」
- 長く連れ添った人は、これはもうすばらしい。
「〇〇〇〇〇〇と味噌は古いほどよい」
- 法隆寺にある国宝で、お経や仏像を納める道具。
「タマムシノ〇〇」
- 専門的な技を自分の生活に用いないことのたとえ。
「〇〇ヤノシロバカマ」

【ヨコのかぎ】

- 後ろ暗いことがある様子。「〇〇〇〇〇〇持つ」
- 中国の歴代王朝で行われた官僚採用試験。
「〇〇〇」
- 石でできた臼。「〇〇〇〇〇でひいたソバ、やっぱり、こう、何かちがいますね」
- 『日本国憲法』第19条「思想及び〇〇〇〇〇〇の自由は、これを侵してはならない。」

グ	レ	ゴ	リ	オ
ン		チ		ワ
マ	キ	ヤ	ヘ	リ
ケ	□	ツ	ト	
ン		ト	ミ	ノ

【前号のこたえ】

マドギワノトットチャン

おすすめ本の投稿・ご意見そのほか

お名前 (掲載します。 ペンネーム可)	
★本の題名 ★本への思い など	
ご連絡先 (実名の場合、 必ずご記入ください)	電話番号など

★本の紹介・「しおり」のご感想・展示の企画案など、ご自由にお書きください。

★図書館だよりを名古屋市図書館ホームページに掲載する場合は、いただいた投稿もホームページに掲載することがあります(了解なく実名を出すことはありません)。予めご了承ください。

職員にお渡し下さるか、FAXで送信下さるか、館内の応募箱にお入れ下さい。